

中小企業がAI導入で最初に考えておきたいこと

ツール選びの前に、業務と人の流れを整理するための5つの視点

先に見るのはツール名ではなく 「どの業務に入れるか」

ChatGPT、Claude、Geminiなどの名前から考え始めると、話が広がりやすくなります。

まずは、AIに任せたい作業と、人が確認したい判断を分けると、導入後の迷いが減ります。

最初の合言葉

まずは1業務・1チーム・1ヶ月

※AI導入は「便利な道具を入れる」より、仕事の流れを少し整える作業に近いものです。

1

何のために使うか

文章作成、議事録、営業日報など目的を1つに絞ると始めやすい。

2

どの業務から始めるか

会社全体ではなく、小さく試せる業務から始めるのが現実的。

3

誰が最後に判断するか

AIは下書きと整理、人は確認と判断、という分け方にすると安心。

4

入れない情報を考える

個人情報、契約情報、社外秘など守る線を先にそろえておく。

5

いつ、何を見て続けるか

2週間から1ヶ月ほど試し、時間短縮・手戻り・続けやすさを見ます。大成功を狙うより、小さく試して直すリズムが大切です。

持ち帰りメモ

AI活用は、まず「何を任せるか」「人がどこを見るか」「どの情報を守るか」を整理すると進めやすくなります。